

2011年度

科目名	社会調査法演習				
担当教員	向井 有理子				
配当	人社3		コード	12068	
開期	後期	講時	月曜日2限	単位数	2
授業テーマ	受講者自身の社会的な問題意識に沿った社会調査の体験				
目的と概要	調査研究の計画、実施、分析、解釈、発表までを実際に行うことによって、社会調査の方法の理解を深めることが目的である。受講者を少人数の調査班に分け、各班で調査のテーマの決定から、社会調査の計画と実施、結果の分析と考察を行い、レポートにまとめ、発表する。				
成績評価法	レポートの内容50%、発表10%、平常点(研究計画書、事前準備小レポート、班の活動への参加状況などによる評価)40%で評価を行う				
テキスト	特に指定しない				
参考書	社会調査へのアプローチ/大谷信介 他 著/ミネルヴァ書房				
履修に当たっての注意・助言/準備学習	前期開講の「アンケート作成法」を受講していること、および、基礎的な統計分析の知識があることが望ましい。欠席はしないことが望ましいが、やむを得ず欠席する場合には事前、事後に各自の班のメンバーと連絡を取り、班の活動が滞らないよう必要な対応をとること。準備学習として、参考図書を読むなどしてどのようなテーマについて調査を行いたいのか、その理由も含めて意見が言えるようにしておくこと。				
講義計画					
第1回	オリエンテーション 社会調査の概要とチームの編成				
第2回	テーマの決定と研究の計画				
第3回	事前準備①				
第4回	事前準備②				
第5回	研究計画書の作成（調査の目的の明確化）				
第6回	研究計画書の作成（調査対象と調査方法の決定）				
第7回	研究計画書の作成（調査内容の決定）				
第8回	調査票の作成				
第9回	調査の実施（データの収集）①				
第10回	調査の実施（データの収集）②				
第11回	データの整理				
第12回	データの分析				
第13回	結果の記述と考察（レポートの執筆について）				
第14回	発表スライドの作成				
第15回	発表・まとめ				
※各班の進捗状況によりかなり変更する場合がある（授業中に連絡する）					